

Harmony among People,
Technology, and Environment.



株主の皆様へ

第90期 営業のご報告

令和 4 年 4 月 1 日から
令和 5 年 3 月 31 日まで

CONTENTS

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

トップメッセージ



代表取締役社長

黒木 幹也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

当社グループの第90期（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

令和5年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで社会経済活動の正常化が進み、景気に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、サプライチェーンの制約やロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源・原材料価格の高騰、また、急激な為替相場の変動などにより、先行

連結財務ハイライト

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は914億69百万円(前期比10.8%増加)、営業利益は51億16百万円(前期比8.3%増加)、経常利益は58億9百万円(前期比7.5%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は39億41百万円(前期比5.0%減少)となりました。

次期の見通しと今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動が回復に向かう一方で、地政学リスクの高まりによる原材料価格や燃料価格の高騰及び諸物価の上昇が継続すると予想され、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われれます。このような状況のもと、当社グループでは、引き続き中期経営計画「チェンジ&チャレンジ Stage II」の実現に向け、持続的成長のための「事業拡大」をはじめとする5つの成長戦略を着実に実行してまいります。加えて、当社の企業理念である「人と技術と環境の調和」に基づいたサステナビリティ構想として、地球温暖化対策をはじめとした多様化する社会的課題への対応を重要な経営課題と認識するとともに、組織の活性化と生産性向上のための人的資本への取り組みを推進することにより、経営環境の変化に対応した体制の強化をはかってまいります。

当社グループの事業成長を継続するために対処すべき課題は次のとおりです。

(1) 収益力の強化

製造工程の合理化や原価の低減、経費の効率的配分、適切な在庫管理等に努めるとともに、生産体制の再構築及び製造設備の増強・新設のための積極的な投資を行ない、収益性・効率性の高い事業基盤を構築してまいります。また、地域に密着した事業展開を進めるとともに、今後の需要拡大が見込まれる成長分野への積極的な営業活動を継続し、収益基盤の強化をはかってまいります。

ガス事業においては、新規用途開発により新たな市場を開拓し、シリンダーガスビジネスの拡充をはかってまいります。特に環境負荷の低い液化アンモニア・水素ガス・新冷媒ガス、また、農業向け炭酸ガスの拡販に注力してまいります。

化成品事業においては、生活に密着した紙工、木工、化粧品分野に、引き続き、環境にやさしい製品を拡販するとともに、住宅・設備、自動車、弱電、食品、医療分野にユーザーニーズに合った高付加価値製品を販売してまいります。また、快適な生活環境の提供を目的とした製品として雨音・振動を低減させる吸音・制振材や太陽光を高反射する遮熱塗料を拡販してまいります。

(2) 研究開発・技術力強化

事業を継続、拡大していくためには、新技術の採用と研究開発により、技術ノウハウをさらに蓄積し、充実させていくことが重要であると認識しております。

SDGsや脱炭素社会の実現、デジタル化の進展など、常に変化する市場環境を意識しながら、中長期的な視点で新規事業領域の研究開発及び社会的課題の解決に貢献する研究開発に取り組んでまいります。

ガス事業においては、非燃焼分野の拡大として、アセチレンを原

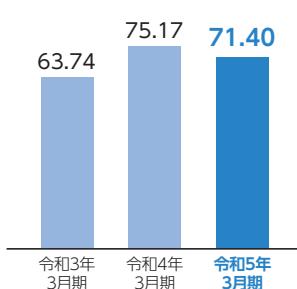
経常利益 (単位:百万円)



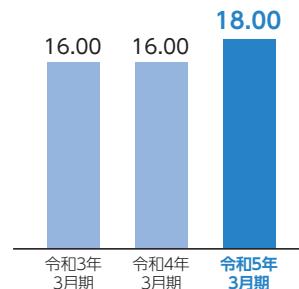
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



トップメッセージ

料とする真空浸炭やカーボンナノチューブ、難燃剤など付加価値の高い製品の市場投入や水素社会実現に向けた、水素ステーション向け大型容器や超高压、軽量容器の開発を行なってまいります。

化成品事業においては、バイオマス原材料等を使用した高付加価値製品や自動車向けの環境配慮型の難燃性接着剤、弱電向けの外部エネルギーを必要としない反応型接着剤や低温硬化型接着剤、住宅向けの塗り替え回数の削減ができる高耐候性塗料ならびにヘルスケア分野向けの低刺激性の皮膚縫合用高機能接着剤などの新用途製品の開発を行なってまいります。

(3) 海外市場への展開

国内事業が主体の当社グループにおいて、海外展開は、事業の一段の発展のための重要な成長課題であると認識しており、ベトナムにガスの製造販売及び接着剤・塗料の製造販売を行なう子会社を有しております。

日本市場で蓄積した事業ノウハウを活かし、現地子会社を拠点として、アジア圏を中心に、さらなる展開をはかり、事業体制の強化をはかってまいります。

(4) 物流体制の強化

製造・販売・物流を一体とした事業モデルを追求している当社グループにおいて、物流コストの上昇、配送人員不足は大きな課題であると認識しております。

安全かつ迅速に製品を安定供給するため、当社グループのネットワークを活かした物流体制の強化と物流コストの抑制をはかってまいります。

(5) 人材の確保と育成

事業の安定化及び拡大をはかるためには、人材の継続的な採用及び育成が重要であると認識しております。

令和6年3月期 連結業績予想

売上高	950億円
営業利益	57億円
経常利益	61億円
親会社株主に帰属する当期純利益	41億円

採用活動は今後も厳しい状況が続くと思われませんが、新卒・中途ともに多様な人材の採用に向けて、多面的な採用活動を続けるとともに、教育研修制度の整備、福利厚生充実、女性活躍の推進をはかるなど、社員がより長く安心して働くことができる労働環境の整備及び働きがいのある企業風土の醸成に取り組んでまいります。

(6) 内部管理体制の強化

コンプライアンスは、企業の持続的な成長を実現し、社会に必要とされる企業グループであり続けるために不可欠な経営上の重要課題であると認識しております。

すべての役職員が法令・規程・社会規範などに沿って、常に高い倫理観とともに良識ある行動をとることができるよう、定期的なコンプライアンス研修、内部監査部門による実効性のある監査及び監査等委員や会計監査人との連携など、コーポレート・ガバナンス体制の強化を通じて公正で透明性の高い経営と責任ある企業活動を推進してまいります。

株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかることを基本方針とし、経営成績・財務状況・今後の事業展開などを総合的に勘案し決定しております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当金8円に創立65周年記念配当金2円を加えて金10円とさせていただきます。令和4年12月9日に1株につき金8円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計金18円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

株主の皆様へ

当社グループといたしましては、引き続き「安全・安心」をすべての基本姿勢として、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、組織の活性化に努めてまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

事業別の概況



ガス事業

売上高 **675億57** 百万円
営業利益 **56億90** 百万円



売上高 (単位:百万円)

令和5年3月期	67,557
令和4年3月期	60,965

営業利益 (単位:百万円)

令和5年3月期	5,690
令和4年3月期	4,452

『溶解アセチレン』は、建設・土木などの現場関係及び造船業界向けの出荷数量が減少したものの、原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前期を上回りました。『その他工業ガス等』は、全般的に出荷数量は減少しましたが、原材料価格の高騰による価格改定やアルゴンが現場工事及びスポット需要の獲得、エアゾールガスが新規獲得、また、LPガス等の石油系ガスでは輸入価格の高騰に伴う販売価格の上昇によりそれぞれ増加し、売上高は前期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が回復し、売上高は前期を上回りました。『容器』は、消火設備装置向け容器の需要回復と原材料価格の高騰による価格改定により、売上高は前期を上回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は675億57百万円(前期比10.8%増加)となりました。営業利益は、56億90百万円(前期比27.8%増加)となりました。



化成品事業

売上高 **206億58** 百万円
営業利益 **9億37** 百万円



売上高 (単位:百万円)

令和5年3月期	20,658
令和4年3月期	18,501

営業利益 (単位:百万円)

令和5年3月期	937
令和4年3月期	1,572

『接着剤』は、ペガールが木工用が減少したものの、塗料用及び紙用が新製品の開発により増加しました。シアノンが南米向けが減少したものの、北米向け高機能品及び韓国・東南アジア向けコンシューマー用の需要が増加しました。ペガロックが中国向けがロックダウンの影響により減少し、また、国内向けが住宅設備関係の需要が減少しました。売上高は、接着剤全般の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり前期を上回りました。『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や「ビーズコートシリーズ」の伸長や塗料製品の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり増加し、また、エアゾール製品は需要が回復し、売上高は前期を上回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は206億58百万円(前期比11.6%増加)となりました。営業利益は度重なる原材料価格の上昇の影響を大きく受け、9億37百万円(前期比40.4%減少)となりました。



その他事業

売上高 **32億53** 百万円
営業利益 **△31** 百万円



売上高 (単位:百万円)

令和5年3月期	3,253
令和4年3月期	3,015

営業利益 (単位:百万円)

令和5年3月期	△31
令和4年3月期	55

その他事業は、LSIカード関連の需要が減少したものの、食品添加物の需要が増加し、価格改定もあり前期を上回り、売上高は32億53百万円(前期比7.9%増加)、営業損失は31百万円(前期は55百万円の営業利益)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	第89期 (令和4年3月31日現在)	第90期 (令和5年3月31日現在)	増減額
流動資産	54,975	59,998	5,022
固定資産	43,424	47,508	4,083
流動負債	25,681	28,474	2,792
固定負債	6,816	9,960	3,144
純資産	65,901	69,070	3,168
総資産	98,400	107,506	9,105

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第89期 (自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)	第90期 (自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)	増減額
売上高	82,483	91,469	8,986
営業利益	4,720	5,116	395
経常利益	5,403	5,809	405
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,149	3,941	△208
1株当たり当期純利益	75円17銭	71円40銭	△3円77銭

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第89期 (自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)	第90期 (自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	5,795	5,652	△143
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,818	△6,672	△2,854
財務活動による キャッシュ・フロー	583	3,232	2,648
現金及び現金同等物 の期末残高	23,672	25,884	2,212

期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金8円に創立65周年記念配当金2円を加え金10円となりました。

期末配当金 1株につき金10円 総額552,040,320円

支払開始日 令和5年6月28日

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要 (令和5年3月31日現在)

商号	高圧ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	851名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	20カ所
出張所	4カ所
工場	15カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)
研究所	2カ所

役員 (令和5年6月27日現在)

取締役

代表取締役社長	黒木 幹也	取締役 常勤監査等委員	松井 良祐
代表取締役副社長	説田 和洋	社外取締役 監査等委員	笹野 哲郎
取締役	森本 孝	社外取締役 監査等委員	山村 忠夫
取締役	池田 佳弘	社外取締役 監査等委員	長島 広明
社外取締役	吉高 紳介		

執行役員

社長執行役員	黒木 幹也	執行役員	加藤 尊康
副社長執行役員	説田 和洋	執行役員	中村 顕
専務執行役員	杉岡 孝雄	執行役員	岡本 健二
専務執行役員	森本 孝	執行役員	福井 雅則
専務執行役員	森田 和博	執行役員	高山 昭彦
常務執行役員	池田 佳弘	執行役員	中村 貴雄
常務執行役員	福井 正郎	執行役員	西川 隆浩
執行役員	大北 隆行	執行役員	立谷 保
執行役員	片岡 一夫	執行役員	安部 悟
執行役員	野杵 達也		

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (令和5年3月31日現在)

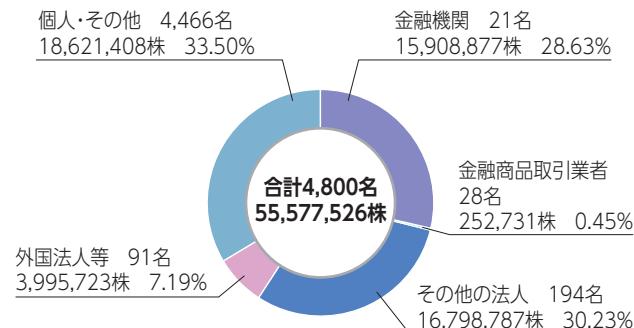
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	4,800名(前期末比187名増加)

大株主 (令和5年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
こうあつ共栄会	7,568	13.71
デンカ株式会社	6,906	12.51
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,691	6.68
日本酸素ホールディングス株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
高圧ガス社員持株会	1,682	3.04
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE USL NON-TREATY CLIENTS ACCOUNT	1,030	1.86
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	936	1.69

(注)持株比率は、自己株式(373,494株)を控除して算出しています。

所有者別株式分布状況 (令和5年3月31日現在)



株主メモ

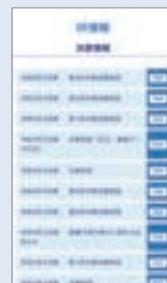
事業年度末日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人 〒100-0005
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<https://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。
ぜひ、ご覧ください。

<https://www.koatsugas.co.jp/>



高圧ガス工業

検索



高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)
電話 06 (7711) 2570 (代表)
<https://www.koatsugas.co.jp/>

